

1年生 初めての実習

『基礎看護学実習Ⅰ（環境と対象の理解）前期』終了しました

9月14・15日、1年生（72回生）は初めての病院実習に行ってきました。

今回の目標は

- ①入院中の対象の生活環境について知る
- ②対象が受けている看護援助を知る
- ③自己の看護への姿勢を明らかにする

でした。

それぞれの実習場所で、貴重な経験をさせていただきました。



物品の準備



それぞれの実習病棟へ...
いってらっしゃい!!

学内振り返り
ミーティング



担当教員と実習前
ミーティング



まよめの会での様子

9月16日のまよめの会で、2日間の学びをクラスで共有しました。
また、意見交換の中で新たな気づきもありました。
患者様が安心して療養できるように環境を整え、不安を少しでも軽減できるような
声かけや援助ができるように、学習や演習に取り組み、11月の後期実習で実践
できるように準備を進めましょう。



学生の記録より

- ・看護師さんの患者さんへのかかわりを間近で観察させてもらい、いかにチーム内で情報共有をし、患者さんのケアを考え、行っているかを知ることができた。
- ・今までナイチンゲールの本を読んだり、講義を聴いたりしてきて、自分の中での病院像のようなものは出来上がっていたが、実際に病院の中での様々な設備や環境整備を見て全然違うように見えた。例えば、目的によって証明の色や照度が違うことに驚いた。
- ・環境は、患者さんそれぞれに合ったものにしていくことがとても大切なんだと思った。

